

適用拡大登録

区 分	殺菌剤
農 薬 名	協友トップジンM水和剤
種 類 名	チオファネートメチル水和剤
登 録 番 号	第 23108 号
登 録 日	平成 31 年 2 月 27 日

登録内容

<作物名の追加>

作物名「さといも(葉柄)」及び「くり」を追加する。

<使用方法の追加>

作物名「いちご」に使用方法「散布」(うどんこ病/1500倍/収穫開始21日前まで/3回以内)を追加する。

<適用病害虫名の追加>

作物名「もも」に適用病害虫名「うどんこ病」(1000倍/散布)を追加する。

作物名「しょうが」に適用病害虫名「白星病」(1000倍/散布)を追加する。

<総使用回数の変更>

作物名「みかん」、「小麦」及び「たまねぎ」のチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数を次のとおり変更する。

みかん：8回以内(塗布は3回以内、散布、空中散布及び無人航空機散布は合計5回以内)

小麦：4回以内(種子への処理は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内、出穂期以降は2回以内)

たまねぎ：7回以内(種子への処理は1回以内、苗根部浸漬は1回以内、無人航空機散布は3回以内、散布は5回以内)

【変更内容】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	チオファネートメチルを含む農薬の総使用回数
もも	灰星病 黒星病 ホモシス腐敗病	1000～ 1500倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで	6回以内	散布	10回以内 (塗布は3回以内、 休眠期の散布は 1回以内、 生育期の散布は 6回以内)
	枝折病 うどんこ病	1000倍					
さといも (葉柄)	黒斑病	200～ 500倍	—	植付前	1回	20～30分間 種いも浸漬	1回

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	チオファネートメチルを 含む農薬の 総使用回数
いちご	うどんこ病	1500 倍	100～ 300L/10a	収穫開始 21 日前まで	3 回以内	散布	4 回以内 (種子への処理は 1 回以内、 は種後は 3 回以内)
		1000 倍	—	株冷蔵栽培 の株冷蔵前		5 分間 株浸漬	
	萎黄病	300～ 500 倍	3L/m ²	仮植前		1 時間 苗根部浸漬	
				仮植時及び 仮植栽培期		灌注	
しょうが	いもち病 白星病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫 7 日 前まで	2 回以内	散布	2 回以内
くり	実炭疽病		200～ 700L/10a	収穫 3 日 前まで	4 回以内		7 回以内 (散布は 4 回以内、 塗布は 3 回以内)
みかん	そうか病	30 倍	8L/10a	4～6 月	5 回以内	空中散布	8 回以内 (塗布は 3 回以内、 散布、空中散布 及び無人航空機 散布は 合計 5 回以内)
	灰色かび病 そうか病	1000～ 1500 倍	200～ 700L/10a	収穫前日 まで		3 回以内 (出穂期 以降は 2 回以内)	
	貯蔵病害(軸腐病)	2000～					
	貯蔵病害(青かび病)	3000 倍					
貯蔵病害(緑かび病)							
小麦	雪腐病	2000～ 2500 倍	60～ 150L/10a	根雪前	3 回以内 (出穂期 以降は 2 回以内)	散布	4 回以内 (種子への処理は 1 回以内、 散布及び 無人航空機散布 は合計 3 回以内、 出穂期以降は 2 回以内)
		1000 倍					
	雪腐大粒菌核病	250～ 500 倍	25L/10a	収穫 14 日 前まで			
	赤かび病	250 倍					
	うどんこ病	1000～ 1500 倍	60～ 150L/10a				
眼紋病	2000 倍						
たまねぎ	小菌核病	1000 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	6 回以内 (但し 定植後は 5 回以内)	5 分間 苗根部浸漬	7 回以内 (種子への処理は 1 回以内、 苗根部浸漬は 1 回以内、 無人航空機散布 は 3 回以内、 散布は 5 回以内)
	灰色腐敗病	500～ 1000 倍					
		500 倍	—	定植直前			

☆使用上の注意事項については製品ラベルをご参照下さい。